

ぼくたちにお昼ごはん おごってくれないませんか？

## 2015年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE



駐日ベナン共和国特命全権大使 ソマホンから皆様へ



このプロジェクトにご協力頂いている多くの日本人の皆様、そして外国人の皆様。

北野武さんのアイデアで2009年に始まったこの「ぼくたちにお昼ごはん おごってくれないませんか？」プロジェクトは、皆様のおかげで、6年目を迎えました。今まで続けることが出来ているのも、皆様のご協力のおかげです。IFEの創設者として、駐日ベナン共和国大使館の特命全権大使として、そしてベナン国民の代表として、心より御礼を申し上げます。

このプロジェクトは、各小学校を取り巻く環境にも大きく影響し、小学校の周りに大方々が集まって来るようになりました。もちろん、小学校の子供の人数も続けております。

以前、現地調査に行ったところ、ある子供が、自分の給食を袋に入れていたので、質問をしたところ、「家にいる弟と妹に持って帰る」と話しておりました。

このように、給食会員の皆様の人間性と愛情に基づいた行動と想いは、給食を頂いている子供たちはもちろん、子供たちの家族や、PTAや各村の方々にも、確実に届いております。

皆様からの想いと期待を受け、このプロジェクトを更により良いものとするために、私も更なる努力をしていきたいと思っております。

皆様のご健康とお幸せを祈っております。  
これからも、給食プロジェクトを宜しくお願い致します。

駐日ベナン共和国大使館 特命全権大使 ソマホン D.C. ルフィン

ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？

# 2015年度 活動報告書

特定非営利活動法人IFE

給食会員の皆様

拝啓

日頃より「ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？」プロジェクトにご賛同下さり、誠にありがとうございます。

本プロジェクトもお陰様で2009年のスタートから、6年目を迎えました。これも皆様方のご支援とご愛顧によるものと、心から感謝いたしております。

また事務局の一員として、この活動に少しでもお役立ちできるよう、今後も活動を継続して参ります。

どうか今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

それでは、2015年度の活動報告をご覧下さい。

敬具

「ぼくたちにお昼ごはんおごってくれませんか？」事務局

プロジェクト履歴	日付	金額
第1回目送金	2009/5/8	3,660,000
第2回目送金	2009/9/24	2,700,000
第3回目送金	2010/4/28	4,340,000
第4回目送金	2010/9/15	1,500,000
第5回目送金	2011/2/23	1,550,000
第6回目送金	2011/3/23	2,000,000
第7回目送金	2011/4/1	800,000
第8回目送金	2011/9/7	580,000
第9回目送金	2011/10/7	700,000
第10回目送金	2011/12/20	3,100,000
第11回目送金	2012/1/4	500,000
第12回目送金	2012/1/31	1,500,000
第13回目送金	2012/4/2	1,360,000
第14回目送金	2012/5/1	740,000
第15回目送金	2012/9/28	1,000,000
第16回目送金	2012/12/21	1,764,000
第17回目送金	2013/4/12	1,254,053
第18回目送金	2013/9/30	3,276,306
第19回目送金	2014/7/30	3,754,443
第20回目送金	2015/2/24	790,000
ご寄付の総額	¥36,868,802	

# ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？ 2015年度 活動報告書～その1～

特定非営利活動法人IFE

日本人は世界各国に観光旅行に行っておりますが、残念ながら、西アフリカ ベナン共和国を訪れる観光者は少数です。旅行会社に行っても、西アフリカ、特にベナン共和国に関するパンフレットを見かけることはありません。更に、最近ではエボラ出血熱や、一部テロ組織の活動への極度の警戒で、アフリカ諸国への旅行者が減っているようです。

その中で、ベナン共和国に観光に行かれた土川さんに、事務局がインタビューさせていただきました。※以下敬称略

事務局 : 初めまして。まず、ベナン観光に行かれた経緯をお聞かせください。

土川 : 初めまして。三度の飯より旅が好きな土川と申します。私は、かなり昔テレビで放送されていた「ここがヘンだよ日本人」のゾマホン学校建設を見て、いつか訪れたいと思っておりました。訪問理由はただ一つ、ゾマホンが建設した学校見学です。滞在期間は、2015年2月6日から2月23日まででした。



事務局 : 土川様はいろいろな国にいかれているようですが、ベナンは他の国と比べてどんな特徴がありましたか？特徴があれば教えてください。

土川 : 私はヨーロッパ、アジア、ロシア、中東、北アフリカは行ったことがありますが、西アフリカには行けませんでした。今回、長年の夢が叶ってベナンを訪れましたが、正直、アフリカに清潔なイメージはありませんでした。しかし、ベナンの宿では、朝の目覚めはなんと、ほうきで掃除をする音でした。ベナン人はきれい好きな人が多いという印象を持ちました。また、ベナン人は、とても朗らかに微笑み、控えめな人が多いと思いました。どこか日本の田舎に似ています。



事務局 : 給食を提供している小学校は、都市部からはかなり遠く、移動は大変だったとおもいます。

土川 : 私が訪れたのは、いのうえ小学校と、たけし小学校でした。いのうえ小学校は、コトヌーから5時間の乗り合いタクシーでダサズメに行き、そこからバイクで1時間40分ほどかかりました。たけし小学校は、いのうえ小学校から更に数百キロ北部にあり、ダサズメを経て、パラクから、バイクで40分ほどかかりました。道路も舗装されていないので、大変疲れしました。

事務局 : 小学校で給食を食べている様子を見ていかがでしたか？

土川 : 私がいのうえ小学校に到着したのは、とても良いタイミングで給食前でした。給食センターの女性も快く私を迎えてくれました。驚いたのは、授業を終えた子供達は、綺麗に列を作り、私に向かって一斉に日本語で、「ベテクク村へようこそ！」と歓迎をしてくださったことです。そして、順番に行儀よく、給食を受け取っていました。食べ物を口にするまでの敬意、有難さを感じました。



事務局 : 給食会員の皆様にメッセージがあればお願いします。

土川 : 国土の殆どが舗装されている日本では味わえない砂埃の中、苦労して到着する小学校は他にはない達成感があります。この達成感を味わってみて下さい。小学校には井戸もあり、水の大切さも再発見することができます。ただし、お願いがあるのですが、ベナンでは、タバコを吸う事は、とても悪い事だと認識されております。場所を選び、配慮を宜しくお願い致します。



# ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？ 2015年度 活動報告書～その2～

特定非営利活動法人IFE



インタビュー：ベナンから来日した留学生に聞きました。

IFEの活動は多岐にわたりますが、活動の根本は“人財育成”です。ベナンの健全な発展はベナン人により達成されなければなりません。その為に我々が出来ることは、「魚を欲しが  
る友人には、魚の捕り方を教えてあげなさい」という言葉の通り、技術や方法を身に付けさ  
せることです。更にIFEの考えとして、「教わったことは身につかない」という考えがあり  
ます。IFEはベナンの学生を日本に留学させ、自らの手で能動的に勝ち取らせます。IFEは  
ベナンで日本語学校を運営し、そのような留学生を育成しています。  
今回、ベナンより来日した留学生は、農業を専攻しており、将来は農場の運営に携わりたい  
という事で、話を聞いてみました。

IFE：コリヌさんは、ベナンの大学で、農業を専攻していたんですね。

コリヌ：はい、私は将来、ベナンで農場の運営をしたいと思いますので、  
農業を専攻しました。私は、日本で農業を勉強するために、  
日本語学校に通いました。

IFE：コリヌさんは、小学生の時、お昼ご飯はどうしていましたか？

コリヌ：ベナンの公立小学校では給食はありませんので、お昼休みに家に帰って食べました。  
私の家は学校から徒歩20分でした。北部の方は、学校まで1時間以上歩きますので、  
お金がある子供だけ、お金を払って食べています。しかし、今は、モノの値段が  
上がり、10年前より、3倍から4倍のお金が必要になりました。

IFE：給食プロジェクトについて、どう思いますか？

コリヌ：子供には栄養が必要です。給食があることは、子供にとって、とても良い事です。  
私は農業を勉強しているので、給食には興味があります。勉強を頑張って、  
ナンの給食プロジェクトの力になりたいです。



# ぼくたちにお昼ごはん おごってくれませんか？

## 2015年度 活動報告書 ～その3～

特定非営利活動法人IFE

### 終わりに

給食プロジェクトも6年目になりました。

給食を提供している小学校の子供は、給食があることが通常となってきております。

そのような今、給食を食べられることの有難さと、感謝の気持ちを忘れないように指導する事の大切さを痛感しております。

また、給食という“食育”に携わっているため、現地の食生活を継承しながら、子供の健康を確保するために、我々も日々勉強しなければなりません。

ベナンで栽培されている食材は何かあるのかを調べ、その中で、栄養のバランスやコストを考え、安く、栄養のある給食を沢山の子供に提供できるように努力いたします。

皆様には現地の様子をお届けする機会が少ないため、私たち事務局としては、心苦しく感じているのも正直な気持ちです。プロジェクトを始めてから、小学校の子供の人数が増え続け、喜ばしい事ではありますが、現地の物価の高騰や円安の影響を受け、運営は難しいのは確かです。しかし、皆さんの支援はこれまで同様、全額給食費として提供しています。報告書をまとめるための費用や、ホームページを作成する費用はボランティアという形で維持しております。

今年度もしっかり給食プロジェクトを継続していく所存です。皆様、本プロジェクトに対して今年度もご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



ぼくたちにお昼ごはん おごってくださいませんか？

# 2015年度 活動報告書 ～動画配信～

特定非営利活動法人 NPO

YouTube

ぼくたちにお昼ごはんおごってくださいませんか？

検索

昨年度に引き続き、Youtubeでベナン共和国の給食プロジェクトの様子をアップしています。  
ぜひインターネットで上記の言葉を入力し、検索してみてください。

動画があり



動画があり



## いのうえ小学校の給食の様子

### ●校長先生へのインタビュー

- 日本の皆さんに感謝したい。給食プロジェクトのお蔭で、遠い村からも子どもたちが小学校に通うようになった。（就学率が上がった。）
- 通常は7時に登校して、すぐに掃除から始めるんだ。
- 将来、ベナンの発展のために頑張ってくれる子供たちを育てたい。

### ●給食スタッフにインタビュー

- 子供たちには手作りで温かいものを食べさせてあげたい。
- 辛いソースにしているのは、髄膜炎予防にもつながる。
- 子供たちの健康の事も考えた献立づくりをするのよ。

# 継続手続きのご案内

特定非営利活動法人IFE

## 1 お振込み

みずほ銀行 八王子支店 普通預金 1191043

特定非営利活動法人 IFE きたの基金

カナ名義 : トクヒ) IFE キタノキキン

### 手続き後のご連絡について

お振込名義だけでは、個人様を特定できない場合もございますので、お振込後にご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

### 領収書について

経費削減のため、領収書が必要な方のみ、事務局から領収書を発送いたします。必要な方は、ご連絡下さい。

### 各種変更について

初回のお申込時から住所等、変更がある場合は、変更内容をご連絡下さい。

## 2 ご連絡

ご本人様確認をさせていただきますので、メールか同封のハガキにて、**お振込日**、**お名前**、**お振込名義**をご連絡下さい。なお、返信が遅くなる場合もございますが、何卒ご了承下さい。

※生徒1名につき10,000円のお振込をお願いします。  
(お振込手数料はご負担下さい。)

※恐縮ですが、郵便での現金送付はお控え下さい。

※勝手ながら、お振込み期限を一旦、**9月23日(水)**とさせていただきます。  
第21回目の送金を24日(木)にする予定です。

※当事務局宛のご連絡はメールかハガキにてお願いします。

※経費節減のため、可能な限り、報告はメールにて連絡させて頂きたいと存じます。  
メールアドレスの変更等ございましたら [lunch@npo-ife.jp](mailto:lunch@npo-ife.jp) までご連絡ください。

事務局はボランティアで運営しております。  
申し訳ございませんが、お電話でのご連絡はご遠慮頂けますよう、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。  
会員様の個人情報には責任をもって、管理しております。



特定非営利活動法人IFE  
**NPO法人IFE**  
Non-Profit Organization IFE

〒193-0931

東京都八王子市台町2丁目12番16号

E-mail : [lunch@npo-ife.jp](mailto:lunch@npo-ife.jp)

Web : <http://npo-ife.jp/lunch/>